

膵管拡張

Point 1 膵臓は消化酵素（膵液）を産生しており、その膵液は、主膵管を通して膵臓の尾部側から頭側、十二指腸に向かってを流れています。膵癌の多くは、腺組織（つまり膵管）から発生することが分かっており、主膵管の拡張が膵癌発見の手がかりになることがあります。

消化酵素である膵液は、主膵管の中を上流（膵尾部方向）から下流（膵頭部）に向かって流れています。主膵管の中に、腫瘍や結石があって膵液の流れが滞ると、主膵管の上流側が拡張する所見（膵管拡張）がみられることがあります。

図1 膵臓の解剖（正面、お腹側から背中側をみています）

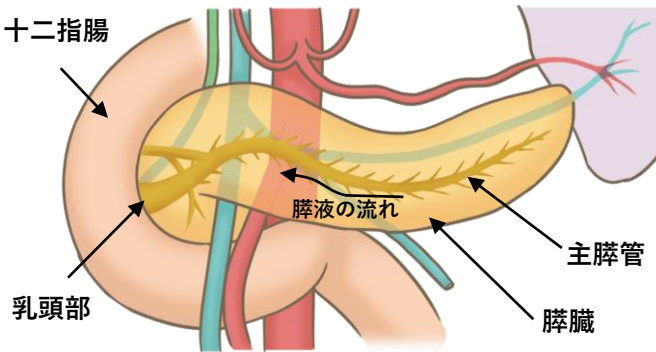


図2 膵管拡張のイラスト

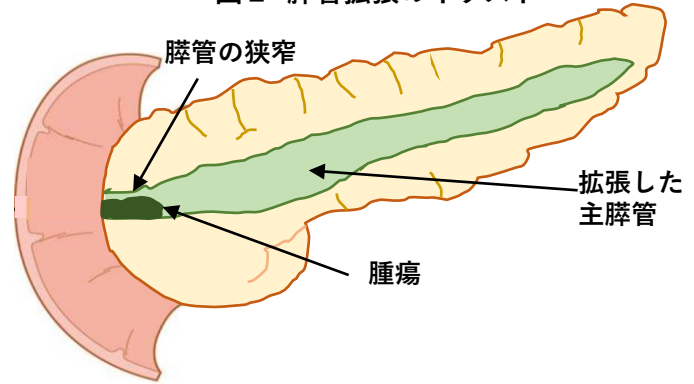
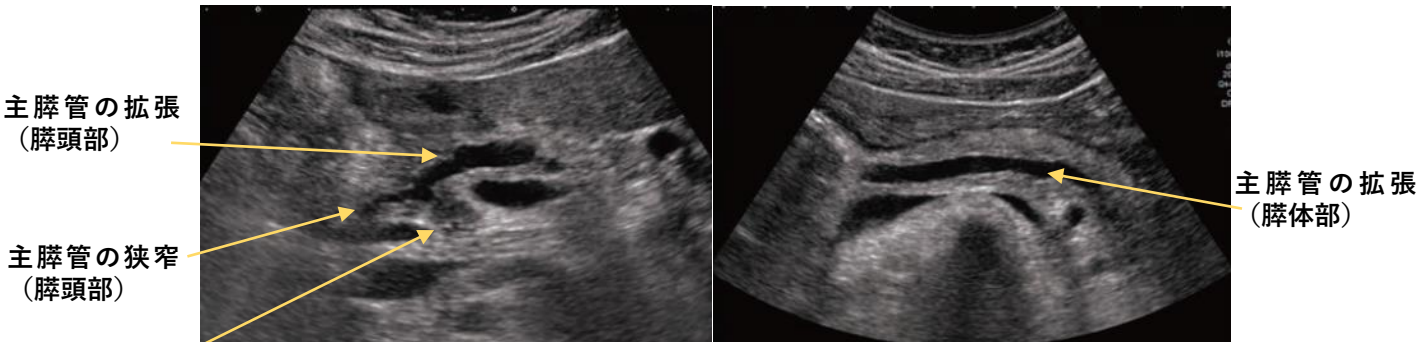


図3 主膵管拡張の超音波画像^{※1}



（右図）膵体部では膵管拡張のみがみられる

（左図）膵頭部～乳頭部では、膵癌と下流側の主膵管の狭窄、上流側の主膵管の拡張が観察される

Point 2 膵管拡張は、膵癌発見の唯一の手掛かりであることがあります。

膵管拡張：要医療機関受診（D判定）の判定がなされたら、必ず消化器内科を受診して下さい。

膵癌は早期に発見するのが非常に難しいがんであり、膵管拡張が唯一の手掛かりであることがあります。

膵管拡張：要医療機関受診（D判定）の判定がなされた場合、必ず消化器内科を受診して精密検査を受けて下さい。

※1 日本消化器がん検診学会超音波検診委員会腹部超音波検診判定マニュアルの改訂に関するワーキンググループ他腹部超音波検診判定マニュアル改訂版(2021年). 日本消化器がん検診学会雑誌, 60巻, 1号, 156頁, 図膵-9. 2021, より引用